

WebSAM

JobCenter

＜操作・実行ログ機能 利用の手引き＞^{R12.6}

- Windows 2000, Windows XP, Windows 2003 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。
- SAP, R/3, BW は、SAP AG の商標もしくは登録商標です。
- HP-UX は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
- AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
- NQS は、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
- その他、本書に記載されているソフトウェア製品およびハードウェア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

なお、本書内では、®、TM、©の記号は省略しています。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェア）は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取り下さい。

許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談下さい。

はじめに

本書は、JobCenter CL/Win からの操作ログ、および、ジョブネットワークの実行記録ログのフォーマットと、CL/Win からの取得設定方法について説明しています。なお、本書内に記載されている画面例と実際の画面とは異なることがありますので注意してください。

• 読み方

JobCenter を新規にインストール、またはバージョンアップされる場合
→ インストールガイドを参照してください。

JobCenter を初めて利用される場合
→ クイックスタート編を目次に従いお読みください。

JobCenter の基本的な操作方法を理解したい場合
→ 基本操作ガイドを目次に従いお読みください。

環境の構築や各種機能の設定を理解したい場合
→ 環境構築ガイドを参照してください。

その他機能についてお知りになりたい場合
→ 関連マニュアルの内容をお読みいただき、目的のマニュアルを参照してください。

• 凡例

本書内での凡例を紹介します。



： 気をつけて読んでいただきたい内容です。

注　　： 本文中につけた注の説明

備考　： 本文中の補足説明

• 関連マニュアル

JobCenter に関するマニュアルです。JobCenter メディア内に格納されています。

最新のマニュアルは、**JobCenter 製品サイトのダウンロードのページ**を参照してください。

URL : <http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/JobCenter/download.html>

資料名	概 要
JobCenter インストールガイド	JobCenter を新規にインストール、またはバージョンアップする場合の方法について説明しています。
JobCenter クイックスタート編	初めて JobCenter をお使いになる方を対象に、JobCenter の基本的な機能と一通りの操作を説明しています。
JobCenter 基本操作ガイド	JobCenter の基本機能、操作方法について説明しています。
JobCenter 環境構築ガイド	JobCenter を利用するために必要な環境の構築、環境の移行や他製品との連携などの各種設定方法について説明しています。
JobCenter NQS 機能利用の手引き	JobCenter の基盤である NQS の機能を JobCenter から利用する方法について説明しています。
JobCenter クラスタ機能利用の手引き	クラスタシステムで JobCenter を操作するための連携方法について説明しています。
JobCenter SAP 機能利用の手引き	JobCenter を SAP と連携させるための方法について説明しています。
JobCenter インポート・エクスポート機能利用の手引き	ユーザ環境のバックアップや環境の移行の際に必要な、JobCenter 上のジョブネットワーク定義、スケジュール定義およびカレンダー定義のインポート・エクスポート機能について説明しています。
JobCenter 操作・実行ログ機能利用の手引き	本書
JobCenter テンプレートガイド	JobCenter に標準添付されている各種テンプレートの利用方法について説明しています。
JobCenter コマンドリファレンス	GUI と同様にジョブネットワークの投入、実行状況の参照などをコマンドラインから行うために、JobCenter で用意されているコマンドについて説明しています。

• 改版履歴

版 数	変更日付	項 目	形 式	変更内容
1	2007/06/29	新規作成	—	第 1 版
2	2007/10/01	—	—	第 2 版改版
3	2008/02/18	—	—	第 3 版改版

目 次

1. 操作・実行ログ機能概要…………… 7

1.1 操作・実行ログ機能の構成…………… 8

2. 操作ログ・実行ログ…………… 9

2.1 操作ログ…………… 10

2.1.1 格納パス(Windows版)…………… 10

2.1.2 格納パス(UNIX版)…………… 10

2.2 実行ログ…………… 11

2.2.1 格納パス(Windows版)…………… 11

2.2.2 格納パス(UNIX版)…………… 11

3. 操作・実行ログの取得設定…………… 12

3.1 「ユーザ環境設定」ダイアログ…………… 13

4. ログフォーマット…………… 16

4.1 操作ログ…………… 17

4.1.1 LocalTimeフィールド…………… 18

4.1.2 UserNameフィールド…………… 18

4.1.3 MachineNameフィールド…………… 18

4.1.4 TargetTypeフィールド…………… 19

4.1.5 TargetNameフィールド…………… 19

4.1.6 Operationフィールド…………… 20

4.2 実行ログ…………… 21

4.2.1 LocalTimeフィールド…………… 22

4.2.2 UserNameフィールド…………… 22

4.2.3 TrackerNameフィールド…………… 22

4.2.4 EventTypeフィールド	22
4.2.5 EndStatusフィールド	23
4.2.6 StartTimeフィールド	23
4.2.7 EndTimeフィールド	23
4.2.8 親子関係のあるジョブネットワーク実行時の実行ログ出力	24

5. 注意事項・制限事項 25

5.1 文字コードに関する注意事項	26
5.2 TZシステム環境変数に関する注意事項(Windows版)	26
5.3 マシングループ構成時の注意事項	26

6. 過去バージョンとの操作ログフォーマットの差異 27

6.1 TargetNameフィールドに関する差異	28
6.2 Operationフィールドに関する差異	29

7. 画面上の操作と操作ログの対応 31

7.1 ユーザフレーム	32
7.1.1 [ジョブネットワーク一覧] タブ	33
7.1.2 [トラッカー一覧] タブ	35
7.1.3 [スケジューラー一覧] タブ	45
7.1.4 [ユーザメニュー] タブ	46
7.1.5 [ユーザ環境設定] ダイアログ	46
7.1.6 ジョブネットワークフローウィンドウ	47
7.2 マネージャフレーム	51
7.2.1 [カレンダー一覧] タブ	51

索引 52

1. 操作・実行ログ機能概要

JobCenter 操作・実行ログ機能は、オペレータによって、CL/Win から行われた操作の記録(操作ログ)と、MG/SV 上でのジョブネットワークの開始・終了の記録(実行ログ)を保存する機能です。

1.1 操作・実行ログ機能の構成

1.1 操作・実行ログ機能の構成

JobCenter 操作・実行ログ機能は、JobCenter CL/Win から行われた操作を記録する操作ログ出力機能と、JobCenter サーバ上でのジョブネットワークの実行履歴を記録する実行ログ出力機能からなります。

図 1-1に、操作・実行ログ機能の構成を記します。

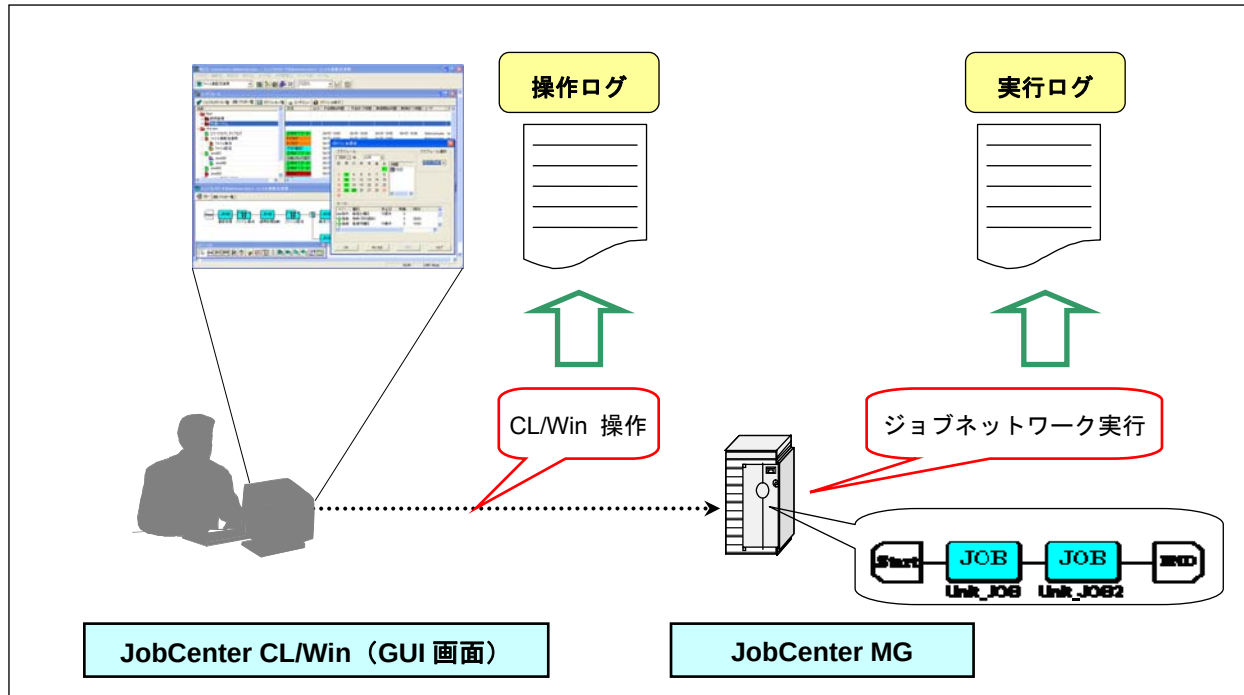


図 1-1 操作・実行ログ機能の構成

ユーザが JobCenter CL/Win から操作を行うと、実行された操作に応じて、操作の日時、実行元ホスト名、実行ユーザ名、操作内容が操作ログとして出力されます。

ジョブネットワークが開始されると、開始時刻、ジョブネットワーク所有者ユーザ名、の情報と合わせて、ジョブネットワークの開始が実行ログとして出力されます。ジョブネットワーク終了時は、開始時の情報に加えて、終了状態(正常、警告、異常)の情報が実行ログに出力されます。

2. 操作ログ・実行ログ

本章では、JobCenter が出力する操作ログ・実行ログに関して、その概要および、格納パスについて説明します。



操作ログ・実行ログの格納パスに含まれる、<IP アドレス> 部分は、JobCenter が動作するクラスタ上の仮想サイトに割り当てられた IP アドレスの 4 つのオクテットを、それぞれ 2 文字の 16 進数として記した 8 文字の文字列が入ります。



操作ログ・実行ログの格納パスに含まれる、%JobCenterDatabaseDirectory% 部分は、JobCenter 共有データベースが配置されているパスを指します。



操作ログ・実行ログの格納パスに含まれる、%InstallDirectory% 部分は、Windows 版 JobCenter MG/SV がインストールされたディレクトリのパスを指します。

このパスは JobCenter インストール時に指定可能で、デフォルトでは、“C:¥JobCenter¥SV”が指定されます。

2.1 操作ログ

2.2 実行ログ

2.1 操作ログ

操作ログは、CL/Win から実行された操作に対して、操作実行時刻、操作実行ユーザ名、操作実行元ホスト、操作対象種類、操作対象名、操作内容の情報を出力します。

操作ログは、CSV 形式で出力され、CL/Win からの 1 つの操作に対して 1 行出力されます。

各出力内容の概要、および、フォーマットに関しては、「4.1 操作ログ」を参照してください。

ログファイル名の「YYYYMMDD」部分は、ログが出力された年月日を表し、2007 年 1 月 1 日に出力されたログの場合、この部分は「20070101」となります。

2.1.1 格納パス (Windows 版)

Windows 版では、操作ログは以下の場所に配置されます。

```
%InstallDirectory%\log\record\op\record_op_YYYYMMDD.csv
%JobCenterDatabaseDirectory%\log\record\op\record_op_YYYYMMDD.csv (※)
```

(※) クラスタ構成の場合

備考 %InstallDirectory%は JobCenter のインストールディレクトリです。
デフォルトは C:\JobCenter\SV になります。

備考 %JobCenterDatabaseDirectory%は、cjcbsite 時に指定した
共有ディスク上のデータベースディレクトリです。

2.1.2 格納パス (UNIX 版)

UNIX 版では、操作ログは以下の場所に配置されます。

```
/usr/spool/nqs/log/record/op/record_op_YYYYMMDD.csv
/usr/spool/nqs/<IPアドレス>/log/record/op/record_op_YYYYMMDD.csv (※)
```

(※) クラスタ構成の場合

2.2 実行ログ

実行ログは、JobCenter サーバ上で実行されるジョブネットワークに対して、開始(終了)時刻、ジョブネットワーク所有ユーザ名、ジョブネットワーク状態の情報を出力します。

実行ログは、CSV 形式で出力され、1 つのジョブネットワークの開始、終了 1 件ごとに、1 行出力されます。

各出力内容の概要、および、フォーマットに関しては、「4.2 実行ログ」を参照してください。

ログファイル名の「YYYYMMDD」部分は、ログが出力された年月日を表し、2007 年 1 月 1 日に出力されたログの場合、この部分は「20070101」となります。

2.2.1 格納パス (Windows 版)

Windows 版では、実行ログは以下の場所に配置されます。

```
%InstallDirectory%\log¥record¥exe¥record_exe_YYYYMMDD.csv  
%JobCenterDatabaseDirectory%\log¥record¥exe¥record_exe_YYYYMMDD.csv (※)
```

(※) クラスタ構成の場合

備考	%InstallDirectory%は JobCenter のインストールディレクトリです。 デフォルトは C:¥JobCenter¥SV になります。
----	---

備考	%JobCenterDatabaseDirectory%は、cjcmsite 時に指定した 共有ディスク上のデータベースディレクトリです。
----	--

2.2.2 格納パス (UNIX 版)

UNIX 版では、実行ログは以下の場所に配置されます。

```
/usr/spool/nqs/log/record/exe/record_exe_YYYYMMDD.csv  
/usr/spool/nqs/<IPアドレス>/log/record/exe/record_exe_YYYYMMDD.csv (※)
```

(※) クラスタ構成の場合

3. 操作・実行ログの取得設定

本章では、JobCenter CL/Win の画面上から、操作・実行ログの取得設定を行う方法を説明します。

3.1 「ユーザ環境設定」ダイアログ

3.2 設定項目

3.3 ログのバックアップファイル作成

3.1 「ユーザ環境設定」ダイアログ

操作・実行ログの取得設定は、JobCenter CL/Win の「ユーザ環境設定」ダイアログから行います。

メニューバーの「設定」－「ユーザ環境設定」を選択します。「ユーザ環境設定」ダイアログの「操作・実行ログ」タブで設定します。

この設定を変更するには、管理者権限のアカウント（UMS Mode）でログインする必要があります。

各設定項目の詳細に関しては、「3.2 設定項目」を参照してください。

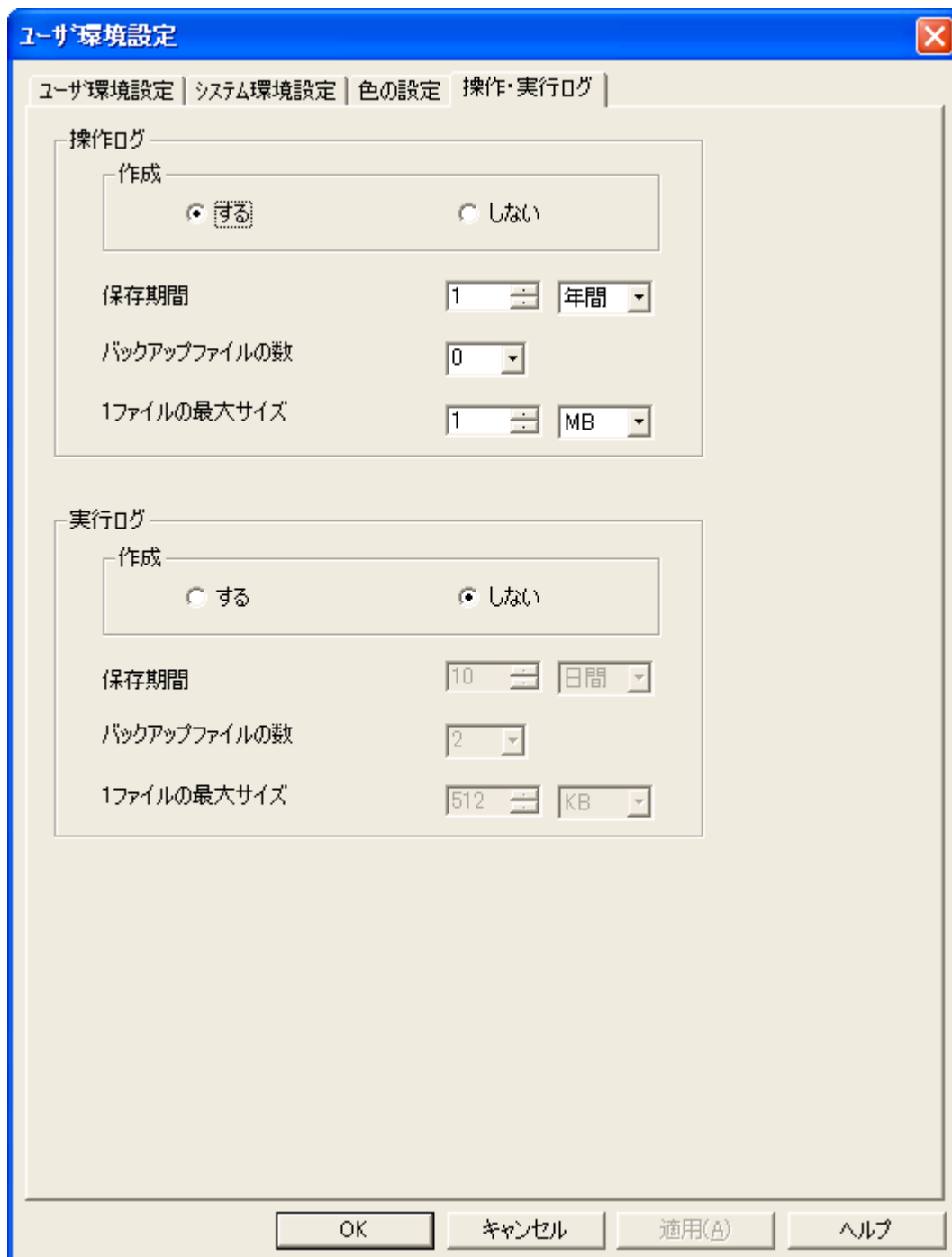


図 3-1 「操作・実行ログ」タブ

3.2 設定項目

「ユーザ環境設定」ダイアログの「操作実行ログ」タブから設定可能な項目は以下の通りです。

- 作成

操作ログ・実行ログを取得するかどうかを設定します。

インストール直後は、「しない」が設定されています。

する	操作ログ、実行ログを取得します
しない	操作ログ、実行ログを取得しません

「する」を選択した場合、保存期間、バックアップファイルの数、1 ファイルの最大サイズの各項目が設定可能になります。

- 保存期間

当日から過去何日分のログを保存するかを設定します。数値と単位の組み合わせにより、1～365 日、および、1～5 年間が設定可能です。1～5 年間を指定した場合、年数に 365 を乗じた日数分のログが保存されます。

保存期間を過ぎたログは自動的に削除されます。

インストール直後は、「1 年間」が設定されています。

- バックアップファイルの数

ログのバックアップファイルをいくつ作成するかを設定します。0 から 9 までの値が設定可能です。0 が設定された場合、バックアップファイルは作成されません。

ログファイルのバックアップ処理に関しては、「3.3 ログのバックアップファイル作成」を参照してください。

インストール直後は、「0」が設定されています。

- 1 ファイルの最大サイズ

1 つのログファイルの最大サイズを設定します。数値と単位の組み合わせにより、1～1024 キロバイト、および、1～1024 メガバイトが設定可能です。

インストール直後は、「1MB」が設定されています。

3.3 ログのバックアップファイル作成

操作・実行ログのサイズが指定された最大サイズを超えた場合、それらは別名で保存され、それ以降のログは、新しいファイルに出力されます。操作・実行ログのバックアップファイルは下記の名前で保存されます。

操作ログ : record_op_YYYYMMDD_n.csv (n = 1, 2, ..., 9)

実行ログ : record_exe_YYYYMMDD_n.csv (n = 1, 2, ..., 9)

ログファイル名の「YYYYMMDD」部分は、ログが出力された年月日を表し、2007 年 1 月 1 日に出力されたログの場合、この部分は「20070101」となります。「_n」部分は、そのファイルが n 番目に新しいバックアップファイルであることを表し、「バックアップファイルの数」で設定された個数のバックアップファイルが既に存在している場合、これ以上新しいバックアップファイルは作成されません。

バックアップファイル作成の処理を、「図 3-2 ログのバックアップファイル作成」で説明します。

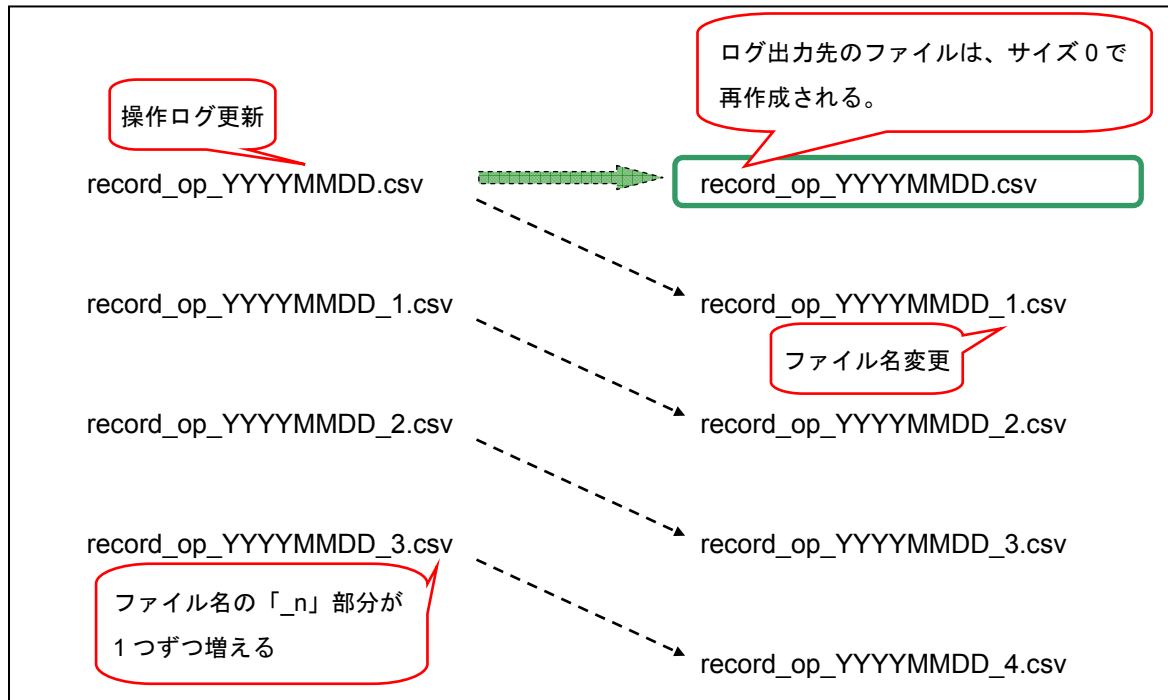


図 3-2 ログのバックアップファイル作成

3 個のバックアップが存在している状態で、操作ログファイル(record_op_YYYYMMDD.csv)の容量が最大サイズを超えると、バックアップファイルの「_n」部分の数字が 1 つずつ増加します。操作ログファイルは、record_op_YYYYMMDD_1.csv に名前が変更され、最新のバックアップファイルとして保存されます。バックアップ処理が完了した後、新しい操作ログファイルが作成されます。

4. ログフォーマット

本章では、操作ログ・実行ログのフォーマットに関して説明します。

4.1 操作ログ

4.2 実行ログ

4.1 操作ログ

操作ログは、JobCenter CL/Win から実行された操作に関して、1 回の操作につき 1 行のログを出力します。操作ログは、下記のフォーマットで出力されます。

```
<LocalTime>,<UserName>,<MachineName>,<TargetType>,<TargetName>,<Operation>
```

操作ログは、LocalTime, UserName, MachineName, TargetType, TargetName, Operation の 6 つのフィールドから構成され、それらがカンマ(,)で区切られています。

例として、

- ・ 操作時刻：2007 年 1 月 1 日 10 時 30 分 30 秒 000 ミリ秒 (JST)
- ・ 操作実行ユーザ：testuser
- ・ 接続元ホスト名：testclient
- ・ 操作内容：ジョブネットワーク「testjnw」を「作成」

の操作を実行した場合、操作ログには、

```
2007/01/01 10:30:30.000(JST),testuser,testclient,JNW,testjnw,create
```

が出力されます。以下では、各フィールドに関して説明します。



TargetNameフィールド、および、**Operation**フィールドに関しては、R12.5.4 以降のJobCenter とR12.6 で出力内容が異なります。

両バージョン間の差異に関しては、「6 過去バージョンとの操作ログフォーマットの差異」を参照してください。

- 4.1.1 LocalTimeフィールド
- 4.1.2 UserNameフィールド
- 4.1.3 MachineNameフィールド
- 4.1.4 TargetTypeフィールド
- 4.1.5 TargetNameフィールド
- 4.1.6 Operationフィールド

4.1.1 LocalTime フィールド

このフィールドには、操作が実行された日時が出力されます。

日時は、CL/Win からの接続先 JobCenter サーバ側のローカルタイムが出力されます。例として、サーバのタイムゾーンが日本標準時(JST)で、2007 年 1 月 1 日 10 時 30 分 30 秒 000 ミリ秒に操作が実行された場合、LocalTime フィールドには、

2007/01/01 10:30:30.000(JST)

が表示されます。

(JST) 部分には、サーバのタイムゾーン名が表示されます。Windows版では、タイムゾーンに「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されている場合、この部分には「(東京 (標準時))」と出力されます。アルファベット表記のタイムゾーン名を表示させるには、システム環境変数TZを設定する必要があります。詳細は、「5.2 TZシステム環境変数に関する注意事項 (Windows版)」を参照してください。

4.1.2 UserName フィールド

このフィールドには、操作を実行したユーザ名が出力されます。

これは、「JobCenter サーバにログインしたユーザ名」と同意で、他ユーザのジョブネットワーク、および、トラッカへのアクセス権限を持つユーザが、他ユーザのユーザフレームから操作を行った場合も操作を実行したユーザ名が出力されます。

4.1.3 MachineName フィールド

このフィールドには、操作を実行したクライアント、つまり、JobCenter サーバへの接続元マシン名が表示されます。接続元マシン名の逆引きができない場合は、接続元マシンの IP アドレスが MachineName フィールドに表示されます。

4.1.4 TargetType フィールド

このフィールドには、クライアントからの操作対象の種類が出力されます。JobCenter における操作対象は、

- ・ ジョブネットワーク
- ・ スケジュール
- ・ カレンダ
- ・ トラッカ
- ・ ユーザ環境設定
- ・ システム環境設定

の 6 種類です。操作対象と、TargetType フィールドに出力される文字列は、次の通りです。

表 4-1 操作対象と TargetType フィールドの関連

操作対象	TargetType
ジョブネットワーク	JNW
スケジュール	SCH
カレンダ	CAL
トラッカ	TRK
ユーザ環境設定	UCONF
システム環境設定	SCONF

4.1.5 TargetName フィールド

このフィールドには、クライアントからの操作対象の名前が出力されます。名前が出力されるのは、TargetType フィールドが、JNW(ジョブネットワーク)、SCH(スケジュール)、CAL(カレンダ)、TRK(トラッカ)のいずれかの場合のみです。

TargetType フィールドが UCONF(ユーザ環境設定)、SCONF(システム環境設定)の場合、および、後述する Operation フィールドが [import] の場合、このフィールドにはハイフン(-)が出力されます。

以下に、CL/Win 上での操作対象と、TargetName フィールドの出力一覧を示します。

表 4-2 操作対象と TargetName フィールドの関連

操作対象	TargetName
ジョブネットワーク	JNW名
部品(単位ジョブ、R/3 ジョブ、BW ジョブ、ダイアログ、イベント送信、イベント受信)	JNW名/部品名
部品(コンティニュー)	JNW名
JNW トラッカ	JNW名.YYYYMMDDhhmmss
部品トラッカ(単位ジョブ、R/3 ジョブ、BW ジョブ、ダイアログ、イベント送信、イベント受信)	JNW名.YYYYMMDDhhmmss/部品名
部品トラッカ(コンティニュー、サブ JNW 待合、ジョブ待合、ファイル待合、時刻待合)	JNW名.YYYYMMDDhhmmss
スケジュール	スケジュール名
カレンダ	カレンダ名

JobCenter CL/Win画面上の実際の操作と、TargetNameフィールドの出力結果の具体的な関連については、「7 画面上の操作と操作ログの対応」を参照してください。

4.1.6 Operation フィールド

このフィールドには、クライアントから実行された操作の種類が出力されます。対象となる操作は、作成(create)、修正・操作(modify)、削除(delete)、実行(submit)、インポート(import)です。ジョブネットワークトラッカ、および、部品のトラッカへの操作に関しては、操作内容に従った文字列が出力されます。表 4-3に、TargetTypeフィールドと、出力されるOperationフィールドの対応を、表 4-4にトラッカへの操作内容とOperationフィールドの対応を示します。

表 4-3 操作対象と Operation フィールドの出力の有無

	create	modify	delete	submit	import
JNW	○	○	○	○	○
SCH	○	○	○	—	○
CAL	○	○	○	—	○
TRK	—	○*1	○	—	—
UCONF	—	○	—	—	—
SCONF	—	○	—	—	—

(*1) : 操作に応じた文字列を出力

表 4-4 ジョブネットワーク・部品トラッカ操作時の対応

操作内容	Operation
スキップ	skip
スキップ解除	noskip
保留	hold
保留解除	release
サスペンド	suspend
サスペンド解除	resume
強制停止	estop
強制起動	forcestart
再実行	rerun
リスタート	restart
コントロール解除	freecontrol
実行(immediate)	start_immediate
実行(ASAP)	start_asap
ok	ok
error	error
待合時刻修正	modify

JobCenter CL/Win画面上の実際の操作と、Operationフィールドの出力結果の具体的な関連については、「7 画面上の操作と操作ログの対応」を参照してください。

4.2 実行ログ

実行ログは、ジョブネットワークの開始・終了に対して、ログを出力します。ジョブネットワークの 1 回の開始・終了に対して、1 行のログが出力されます。

実行ログは、下記のフォーマットで出力されます。

```
<LocalTime>,<UserName>,<TrackerName>,<EventType>,<EndStatus>,<StartTime>,<EndTime>
```

実行ログは、LocalTime, UserName, TrackerName, EventType, EndStatus, StartTime, EndTime の 7 つのフィールドから構成され、それらがカンマ(,)で区切られています。

例として、

- ・ 開始時刻：2007 年 1 月 1 日 10 時 30 分 30 秒 000 ミリ秒 (JST)
- ・ ジョブネットワーク実行ユーザ：testuser
- ・ ジョブネットワーク名：testjnw

のジョブネットワークが開始した場合、実行ログには、

```
2007/01/01 10:30:30.000(JST),testuser,testjnw.20070101013030,JNWSTART,-,2007/01/01  
10:30:30.000(JST),-
```

が出力されます。このジョブネットワークが、

- ・ 終了時刻：2007 年 1 月 1 日 13 時 00 分 00 秒 000 ミリ秒 (JST)
- ・ 終了状態：正常終了

の状態を終了した場合、実行ログには、

```
2007/01/01 13:00:00.000(JST),testuser,testjnw.20070101013030,JNWEND,DONE,2007/01/01  
10:30:30.000(JST),2007/01/01 13:00:00.000(JST)
```

が出力されます。

以下では、各フィールドに関して説明します

4.2.1 LocalTimeフィールド

4.2.2 UserNameフィールド

4.2.3 TrackerNameフィールド

4.2.4 EventTypeフィールド

4.2.5 EndStatusフィールド

4.2.6 StartTimeフィールド

4.2.7 EndTimeフィールド

4.2.8 親子関係のあるジョブネットワーク実行時の実行ログ出力

4.2.1 LocalTime フィールド

このフィールドには、ジョブネットワークが開始・終了した日時が出力されます。
ジョブネットワーク投入元マシンのローカルタイムが出力されます。フォーマットに関する詳細は、操作ログの LocalTime フィールドと同様です。

4.2.2 UserName フィールド

このフィールドには、実行されたジョブネットワークの所有者ユーザ名が出力されます。
例として、ユーザ A がユーザ B のジョブネットワークの実行権限を持つとき、ユーザ A がユーザ B のユーザフレームからジョブネットワークを実行した場合、UserName フィールドには、ジョブネットワークの所有者である [ユーザ B] が出力されます。

4.2.3 TrackerName フィールド

このフィールドには、実行されたジョブネットワークのトラッカ ID が出力されます。
トラッカ ID は、ジョブネットワーク名と開始時刻が、

JNW名.YYYYMMDDhhmmss

の形式で出力されます。このとき、時刻部分(YYYYMMDDhhmmss)は、JNW 実行サーバのローカルタイムが GMT(日本標準時-9 時間)で出力されます。

例として、

- ・ 開始時刻 : 2007 年 1 月 1 日 10 時 30 分 30 秒 000 ミリ秒 (JST)
- ・ ジョブネットワーク名 : testjnw

の場合は、

testjnw.20070101013030

が出力されます。

4.2.4 EventType フィールド

このフィールドには、ジョブネットワークの状態が出力されます。
それぞれの意味は下記の通りです。

表 4-5 ジョブネットワーク状態と EventType フィールドの対応

JNWSTART	ジョブネットワークの開始時です
JNWEEND	ジョブネットワークの終了時です

4.2.5 EndStatus フィールド

このフィールドには、ジョブネットワークの終了状態が出力されます。
ジョブネットワーク開始時は、このフィールドには、ハイフン(-)が出力されます。
EndStatus フィールド値の意味を、下記に記します。

表 4-6 ジョブネットワーク終了状態と EndStatus フィールドの対応

DONE	正常終了
WDONE	警告終了
EDONE	異常終了

4.2.6 StartTime フィールド

このフィールドには、ジョブネットワークが開始した日時が出力されます。
ミリ秒部分には、常に「000」が表示されます。

4.2.7 EndTime フィールド

このフィールドには、ジョブネットワークが終了した日時が出力されます。
ミリ秒部分には、常に「000」が表示されます。
ジョブネットワーク開始時は、このフィールドには、ハイフン(-)が出力されます。

4.2.8 親子関係のあるジョブネットワーク実行時の実行ログ出力

ジョブネットワーク中にサブジョブネットワークとして含まれているジョブネットワークの開始・終了時も、1つのジョブネットワークの開始・終了として実行ログが出力されます。

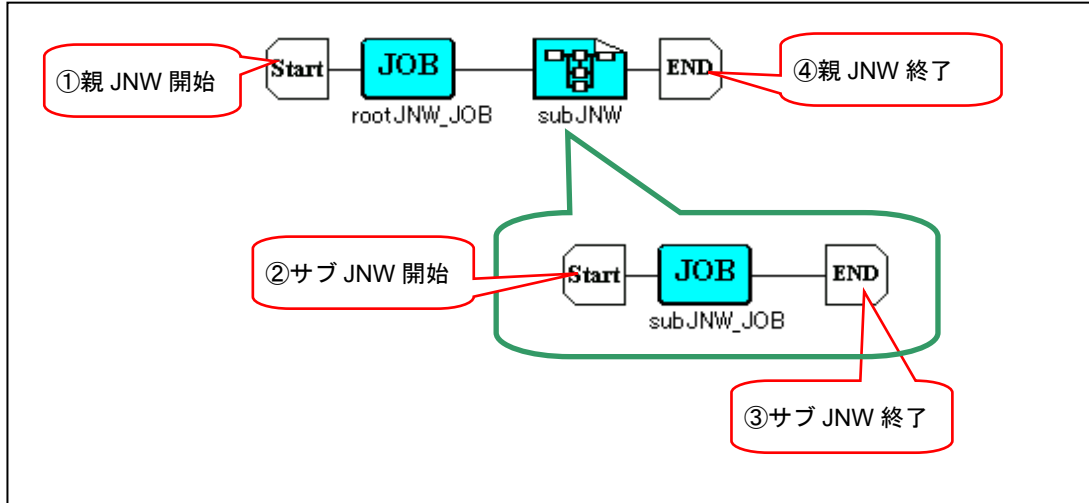


図 4-1 親子関係を持つジョブネットワーク

図 4-1を例に挙げると、親ジョブネットワークrootJNWは、サブジョブネットワーク subJNWを持ちます。ジョブネットワークが実行開始すると、

1. 親ジョブネットワークの開始
2. サブジョブネットワークの開始
3. サブジョブネットワークの終了
4. 親ジョブネットワークの終了

の順番で実行されます。このとき、この順番に従って、実行ログが、

```
... ,rootJNW.20070101013030,JNWSTART,-, ...
... ,rootJNW:subJNW.20070101013030,JNWSTART,-, ...
... ,rootJNW:subJNW.20070101013030,JNWEND,DONE, ...
... ,rootJNW.20070101013030,JNWEND,DONE, ...
```

のように出力されます。

5. 注意事項・制限事項

本章では、操作・実行ログ機能をご利用になるに当たって、注意していただく事項、について説明します。

5.1 文字コードに関する注意事項

5.2 TZシステム環境変数に関する注意事項 (Windows版)

5.3 マシングループ構成時の注意事項

5.1 文字コードに関する注意事項

UNIX 版 JobCenter にて、操作ログ・実行ログの文字コードには、セットアップ時(nssetup コマンド実行時)に指定した文字コードが使用されます。

Windows 版 JobCenter では、文字コードとして SJIS(シフト JIS)が使用されます。

5.2 TZ システム環境変数に関する注意事項 (Windows 版)

JobCenter において、操作ログ・実行ログに出力される時刻のタイムゾーン部分には、

- (東京 (標準時))

と表示されます。この部分に [(JST)] と表示させるには、システム環境変数に

変数名	TZ
値	JST-9

を登録する必要があります。

システム環境変数の追加を反映させるには、Windows の再起動が必要です。

5.3 マシングループ構成時の注意事項

マシングループ構成使用時は、マシングループに参加している各マシンの操作ログ・実行ログの出力設定は、マシングループのマネージャマシンの設定と同じになります。

マシングループ中マシンの操作ログ・実行ログの出力設定を行う場合は、マシングループのマネージャマシンの「ユーザ環境設定」ダイアログから設定を行う必要があります。

6. 過去バージョンとの操作ログフォーマットの差異

JobCenter R12.6 において、操作ログの[操作対象]を表す TargetName フィールドと、[操作内容]を表す Operation フィールドに対して、出力情報の拡充、および改善を行っております。

本章は、R12.5.4 以降と R12.6 の両バージョン間での操作ログフォーマットに関する差異をまとめています。

6.1 TargetNameフィールドに関する差異

6.2 Operationフィールドに関する差異

6.1 TargetName フィールドに関する差異

R12.5.4 以降の JobCenter では、ジョブネットワーク中、あるいは、トラックフロー中の部品を操作したとき、操作ログの TargetName フィールドに、部品の属するジョブネットワーク名のみが出力されます。

R12.6 では、操作した部品の種類に応じて、部品名、もしくは、ジョブネットワークのトラック ID を TargetName フィールドの文字列に付加します。

表 6-1に操作ごとの差異を示します。

表 6-1 操作内容と Operation フィールドの関連

操作		R12.5.4 以降	R12.6
JNW のトラックを操作		JNW 名	JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
フロー中の部品を修正 (単位ジョブ、R/3 ジョブ、BW ジョブ、 ダイアログ、イベント送信、イベント受信)			JNW 名/部品名
フロー中の部品を修正 (コンティニュー、ジョブ待合、サブ JNW 待合、 時刻待合、ファイル待合)			JNW 名
トラックフロー 中の部品を操作	待合部品、コンティニュー 部品以外		JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss/部品名
	待合部品		JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
	コンティニュー部品		

6.2 Operation フィールドに関する差異

R12.5.4 以降の JobCenter では、トラッカ中の部品を操作したとき、操作ログの Operation フィールドに、一律に”modify”が出力されます。

R12.6 では、この代わりに、部品に対して実行された操作に応じた文字列が出力されるようになりました。

操作内容と、Operationフィールドに出力される文字列の一覧を表 6-2に記します。

各部品に対して実行可能な操作の一覧を、表 6-3、表 6-4に記します。

表 6-2 操作内容と Operation フィールドの関連

操作		R12.5.4 以降	R12.6
部品のトラッカを操作	スキップ	modify	skip
	スキップ解除		noskip
	保留		hold
	保留解除		release
	サスペンド		suspend
	サスペンド解除		resume
	強制停止		estop
	強制起動		forcestart
	再実行		rerun
	リスタート		restart
	コントロール解除		freecontrol
	実行(immediate)		start_immediate
	実行(ASAP)		start_asap
	ok		ok
	error		error
	待合時刻修正		modify

表 6-3 部品別の実行可能操作一覧(1)

操作	単位ジョブ	R/3 ジョブ	BW ジョブ	サブ JNW	ダイアログ	イベント送信	イベント受信
スキップ	○	○	○	○	○	○	○
スキップ解除	○	○	○	○	○	○	○
保留	○	○	○	○	—	○	○
保留解除	○	○	○	○	—	○	○
強制起動	○	○	○	○	—	○	○
再実行	○	○	○	○	○	○	○
強制停止	○	—	○	○	—	○	○
リスタート	○	—	—	—	—	—	—
コントロール解除	○	—	—	—	—	—	—
サスペンド	○	—	—	—	—	—	—
サスペンド解除	○	—	—	—	—	—	—
実行(immediate)	—	○	—	—	—	—	—
実行(ASAP)	—	○	—	—	—	—	—
ok	—	—	—	—	○	—	—
error	—	—	—	—	○	—	—
待合時刻修正	—	—	—	—	—	—	—

表 6-4 部品別の実行可能操作一覧(2)

操作	イベント送信	コンティニュー	ジョブ待合	サブ JNW 待合	ファイル待合	時刻待合
スキップ	○	—	○	○	○	○
スキップ解除	○	—	○	○	○	○
保留	○	○	—	—	—	—
保留解除	○	○	—	—	—	—
強制起動	○	—	—	—	—	—
再実行	○	—	—	—	—	—
強制停止	○	—	—	—	—	—
リスタート	—	—	—	—	—	—
コントロール解除	—	—	—	—	—	—
サスペンド	—	—	—	—	—	—
サスペンド解除	—	—	—	—	—	—
実行(immediate)	—	—	—	—	—	—
実行(ASAP)	—	—	—	—	—	—
ok	—	—	—	—	—	—
error	—	—	—	—	—	—
待合時刻修正	—	—	—	—	—	○

7. 画面上の操作と操作ログの対応

本章では、JobCenter CL/Win から実行可能な操作と、操作ログの出力内容の対応について、一覧を示します。

CL/Win からの操作に対して、 操作ログの

- TargetType
- TargetName
- Operation

の 3 つのフィールドに出力される内容を挙げています。

7.1 ユーザフレーム

7.2 マネージャフレーム

7.1 ユーザフレーム

ユーザフレームには、機能ごとに [ジョブネットワーク一覧]、[トラッカー一覧]、[スケジュール一覧]、[ユーザメニュー]、[スケジュール表示] の5つのタブがあります。それらのうち、[スケジュール表示] タブを除く4つのタブでの操作から操作ログが出力されます。

7.1.1 [ジョブネットワーク一覧] タブ

7.1.2 [トラッカー一覧] タブ

7.1.3 [スケジュール一覧] タブ

7.1.4 [ユーザメニュー] タブ

7.1.5 [ユーザ環境設定] ダイアログ

7.1.6 ジョブネットワークフローウィンドウ

7.1.1 [ジョブネットワーク一覧] タブ

[ジョブネットワーク一覧] タブから実行可能な操作のうち、ジョブネットワークの作成・編集・投入・削除に対して操作ログが出力されます。「(1) ユーザフレーム上の操作」ではユーザフレーム上で可能な操作を、「(2) メニュー上の操作—編集」および、「(3) メニュー上の操作—投入」では、ジョブネットワーク一覧タブを開いた状態で、メニューから実行可能な操作を挙げています。

(1) ユーザフレーム上の操作

The screenshot displays the 'Job Network List' tab in the software interface. Three callouts provide details for specific operations:

- ジョブネットワークを削除 (Delete Job Network):**
 - TargetType : JNW
 - TargetName : JNW 名
 - Operation : delete
- ジョブネットワークを投入 (Input Job Network):**
 - TargetType : JNW
 - TargetName : JNW 名
 - Operation : submit
- ジョブネットワークを作成 (Create Job Network):**
 - TargetType : JNW
 - TargetName : JNW 名
 - Operation : create
- ジョブネットワークのパラメータを修正 (Modify Job Network Parameters):**
 - TargetType : JNW
 - TargetName : JNW 名
 - Operation : modify

(2) メニュー上の操作－編集

ジョブネットワークを作成
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名
Operation : create

ジョブネットワークをインポート
TargetType : JNW
TargetName : -
Operation : import

ジョブネットワークを削除
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名
Operation : delete

ジョブネットワークを削除します。
よろしいですか?
test_jnw (ジョブネットワーク)

続行

ジョブネットワークを削除
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名
Operation : delete



「JNW のインポート」、「カレンダーのインポート」、「スケジュールのインポート」は、ユーザフレーム中の他のタブ、および、他のフレームを開いているときも実行可能です。

(3) メニュー上の操作－投入

ジョブネットワークを投入
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名
Operation : submit

JNWの投入

投入時間
☐ ユーザ設定(既定値は現在の時間)
2007 年 4月 1 日 0 : 0

ジョブパラメータ:

コメント:

事前設定
☐ 保留 ☐ スキップ ☒ OFF

☒ トラッカウィンドウを開く

OK

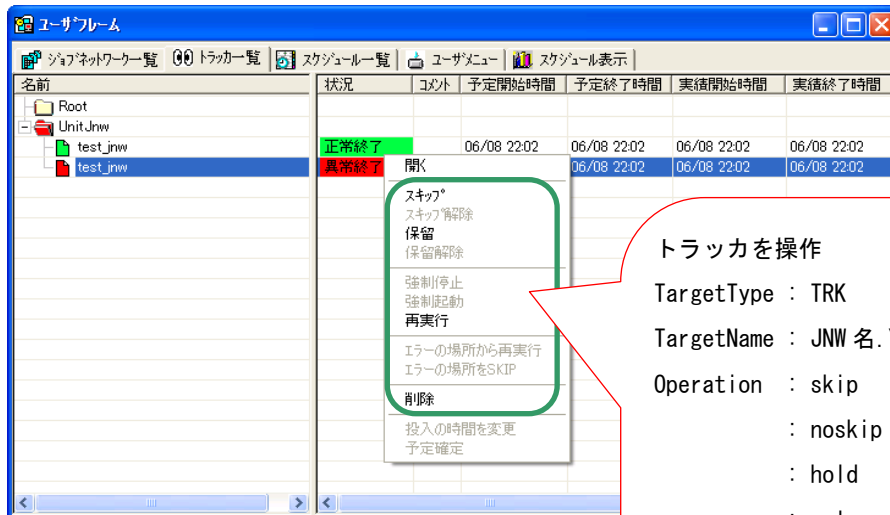
7.1.2 「トラッカー一覧」タブ

「トラッカー一覧」タブでは、トラックを右クリックして表示されるコンテキストメニュー、および、メニューバーから実行されるトラックへの操作に対して操作ログが出力されます。

「(1) ユーザフレーム上での操作—全トラック共通」、「(4) メニュー上での操作—全トラック共通」では、各トラック共通の操作を、「(2) ユーザフレーム上での操作—「予定」トラック」、「(3) ユーザフレーム上での操作—「予定(確定)」トラック」、「(5) メニュー上での操作—「予定」トラック」、「(6) メニュー上での操作—「予定(確定)」トラック」、「(7) 「予定」、「予定(確定)」トラック修正」、では、予定、および、予定(確定)トラックに実行可能な操作を挙げています。

「(8) トラックフロー中の部品の操作」では、トラック中の各部品に対して、操作時に出力されるログを挙げています。

(1) ユーザフレーム上での操作—全トラック共通



トラックを操作

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss

Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : estop (強制停止)
 : rerun (再実行)
 : delete (削除)

(2) ユーザフレーム上での操作－「予定」トラッカ

強制起動
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
 Operation : forcaststart

予定確定
 TargetType : JNW
 TargetName : JNW 名
 Operation : submit

投入の時間を変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
 Operation : modify

Tracker操作の確認
 以下のトラッカを予定確定します。
 よろしいですか？
 対象 名前
☒ test_jnw
 OK キャンセル

(3) ユーザフレーム上での操作－「予定(確定)」トラッカ

強制起動
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
 Operation : forcaststart

投入の時間を変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
 Operation : modify

投入の時間を変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss
 Operation : modify

(4) メニュー上での操作—全トラック共通

The screenshot shows the 'Skip' menu option selected, which opens a sub-menu with options like 'Skip', 'Skip Release', 'Hold', 'Release', 'Estop', and 'Rerun'. A confirmation dialog titled 'Tracker操作の確認' (Tracker Operation Confirmation) is also shown, asking for confirmation to delete the track 'test_jnw'.

トラックを操作
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : estop (強制停止)
 : rerun (再実行)

トラックを削除
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : delete (削除)

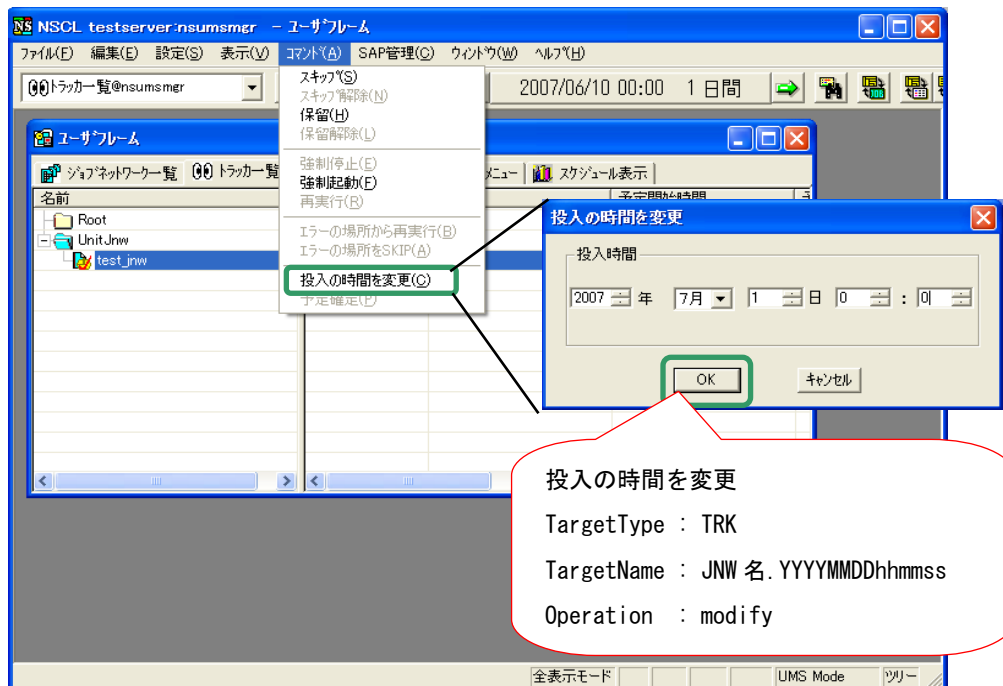
(5) メニュー上での操作—「予定」トラック

The screenshot shows the 'Change Input Time' menu option selected, which opens a dialog for changing the input time. A confirmation dialog titled 'Tracker操作の確認' (Tracker Operation Confirmation) is also shown, asking for confirmation to submit the track 'test_jnw'.

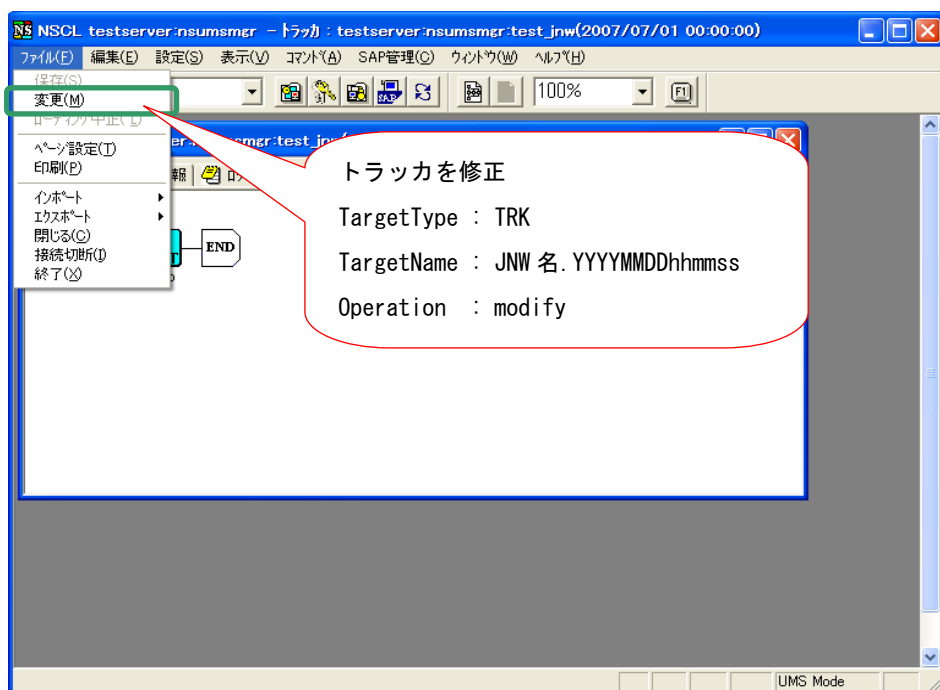
投入の時間を変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : modify

予定確定
 TargetType : JNW
 TargetName : JNW 名
 Operation : submit

(6) メニュー上での操作－「予定(確定)」トラッカ



(7) 「予定」、「予定(確定)」トラッカ修正



(8) トラッカフロー中の部品の操作

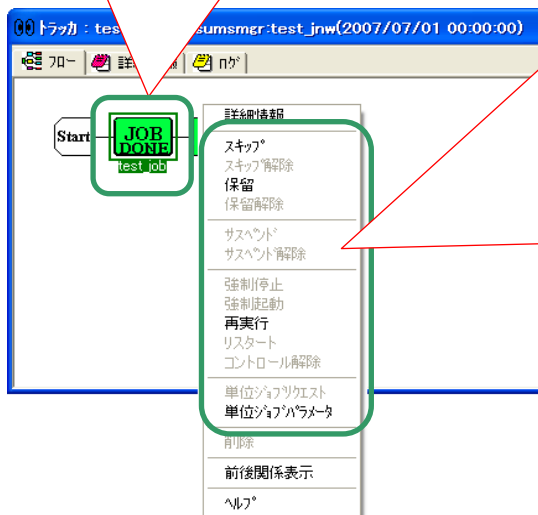
<1> 単位ジョブ

単位ジョブのパラメータ・スクリプトを変更

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名. YYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : modify



単位ジョブのトラッカを操作

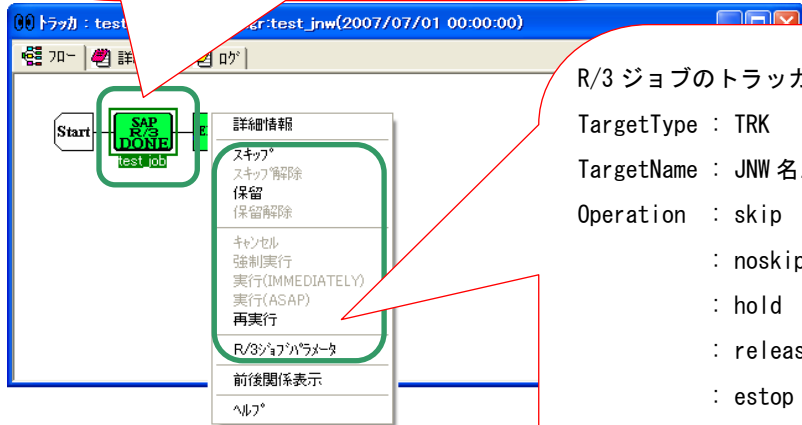
TargetType : TRK

TargetName : JNW 名. YYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : estop (強制停止)
 : forcestart (強制起動)
 : rerun (再実行)
 : suspend (サスペンド)
 : resume (サスペンド解除)
 : restart (リスタート)
 : freecontrol (コントロール解除)

<2> R/3 ジョブ

R/3 ジョブのパラメータ・スクリプトを変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss/部品名
 Operation : modify

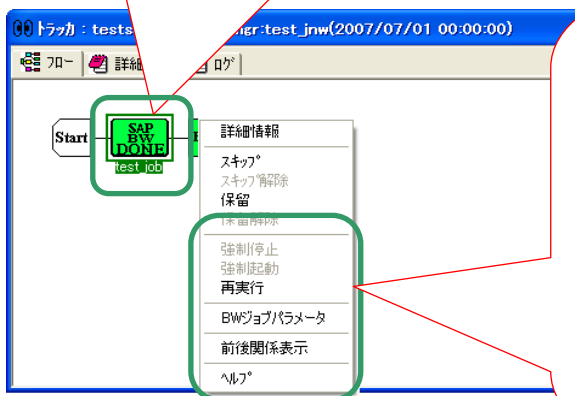


R/3 ジョブのトラッカを操作

TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss/部品名
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : estop (強制停止)
 : forcestart (強制起動)
 : rerun (再実行)
 : start_immediate (実行(immediate))
 : start_asap (実行(asap))

<3> BW ジョブ

BW ジョブのパラメータを変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss/部品名
 Operation : modify



BW ジョブのトラッカを操作

TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss/部品名
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : forcestart (強制起動)
 : rerun (再実行)

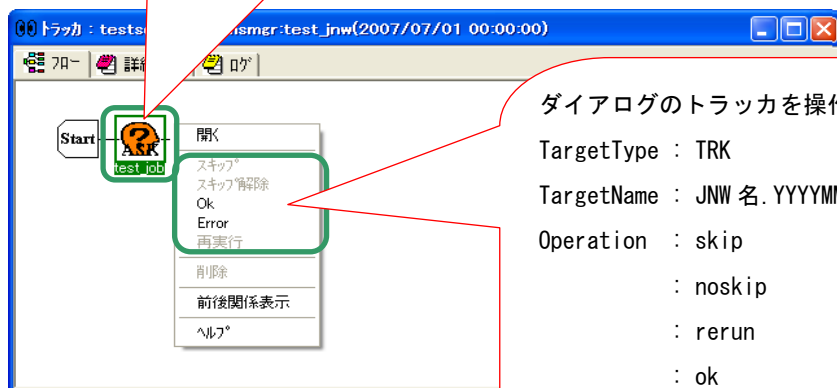
<4> ダイアログ

ダイアログのパラメータを変更

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : modify



ダイアログのトラックを操作

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : skip	(スキップ)
: noskip	(スキップ解除)
: rerun	(再実行)
: ok	(ok)
: error	(error)

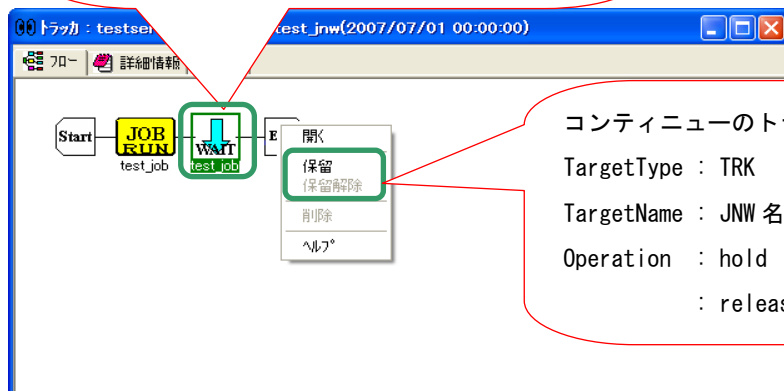
<5> コンティニュー

コンティニューのパラメータを変更

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss

Operation : modify



コンティニューのトラックを操作

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYYMMDDhhmmss

Operation : hold	(保留)
: release	(保留解除)

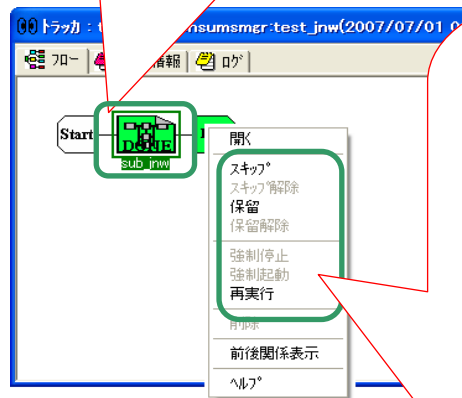
<6> サブジョブネットワーク

サブジョブネットワークのフロー・パラメータを変更

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYMMDDhhmmss

Operation : modify



サブジョブネットワークのトラックを操作

TargetType : TRK

TargetName : 親 JNW 名:JNW 名.YYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : skip (スキップ)

: noskip (スキップ解除)

: hold (保留)

: release (保留解除)

: estop (強制停止)

: forcestart (強制起動)

: rerun (再実行)

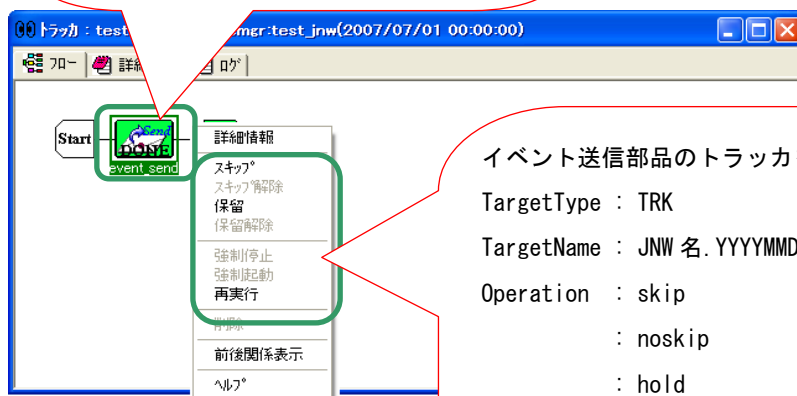
<7> イベント送信

イベント送信部品のパラメータを変更

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYMMDDhhmmss

Operation : modify



イベント送信部品のトラックを操作

TargetType : TRK

TargetName : JNW 名.YYYYMMDDhhmmss/部品名

Operation : skip (スキップ)

: noskip (スキップ解除)

: hold (保留)

: release (保留解除)

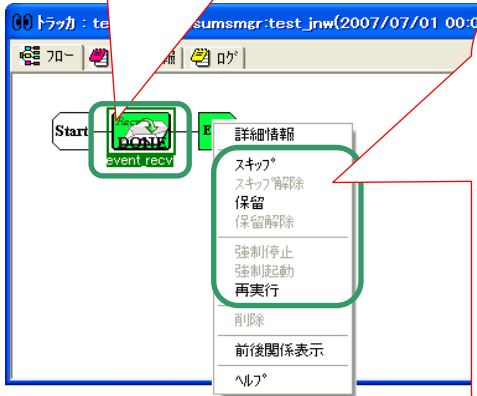
: estop (強制停止)

: forcestart (強制起動)

: rerun (再実行)

<8> イベント受信

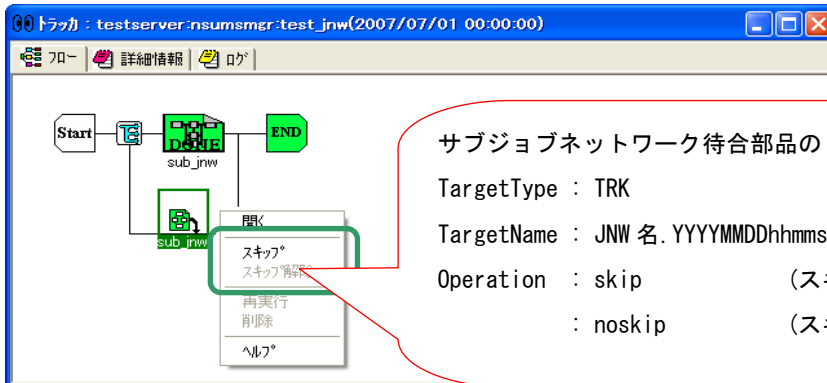
イベント受信部品のパラメータを変更
 TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : modify



イベント受信部品のトラッカを操作

TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss/部品名
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)
 : hold (保留)
 : release (保留解除)
 : estop (強制停止)
 : forcestart (強制起動)
 : rerun (再実行)

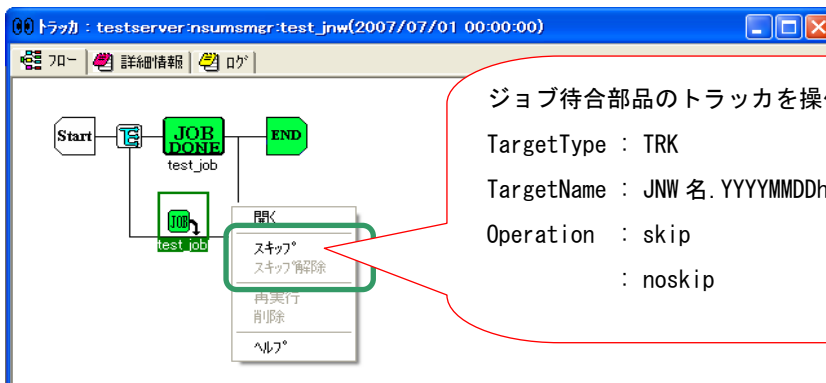
<9> サブジョブネットワーク待合



サブジョブネットワーク待合部品のトラッカを操作

TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)

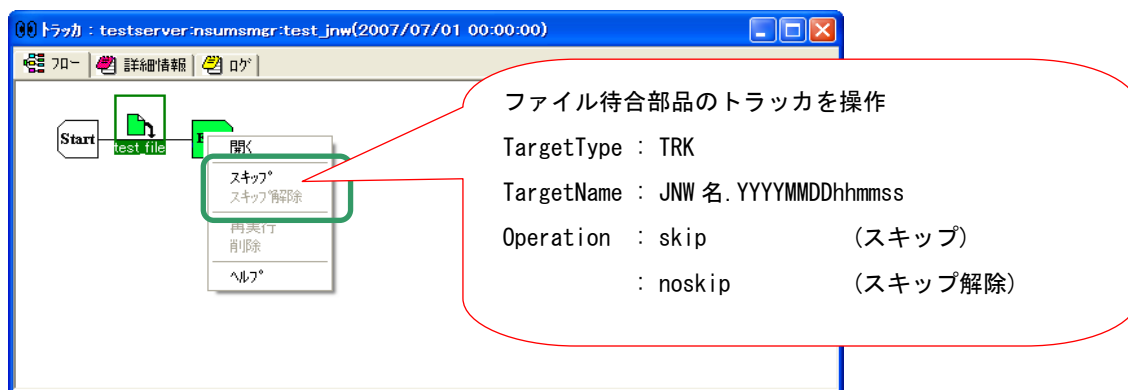
<10> ジョブ待合



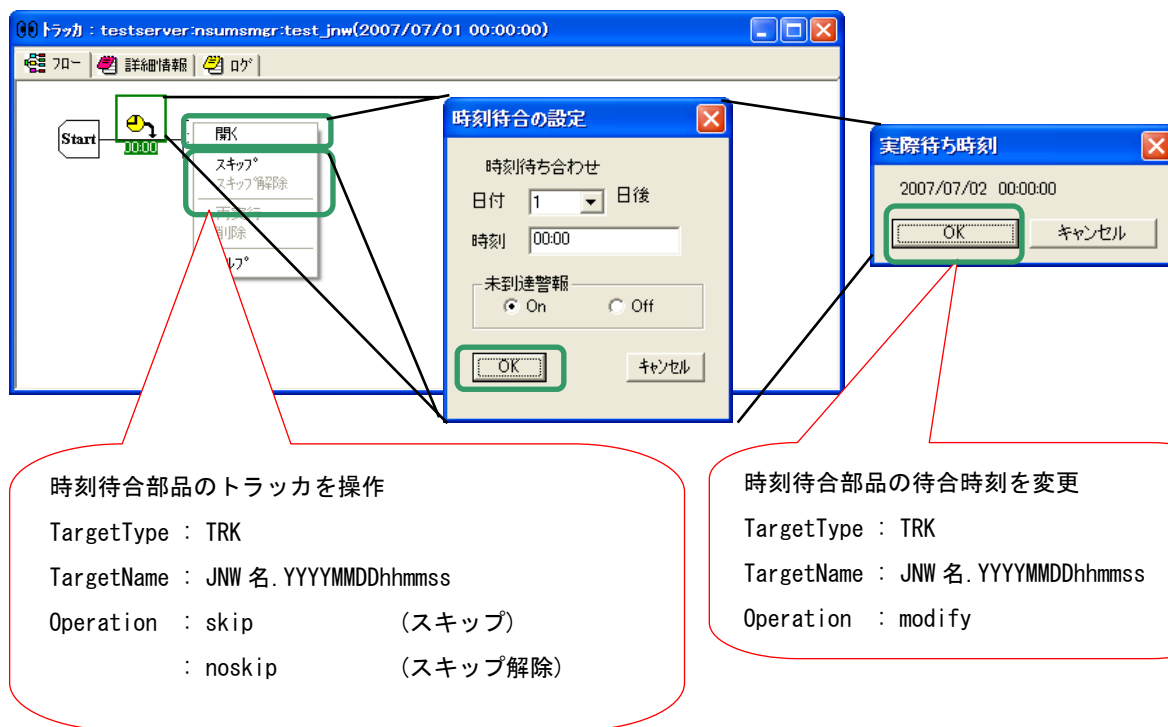
ジョブ待合部品のトラッカを操作

TargetType : TRK
 TargetName : JNW 名.YYYYYMDDhhmmss
 Operation : skip (スキップ)
 : noskip (スキップ解除)

<11> ファイル待合



<12> 時刻待合



7.1.3 「スケジュール一覧」タブ

「スケジュール一覧」タブから実行可能な操作のうち、スケジュールの作成・編集・削除に対して操作ログが出力されます。

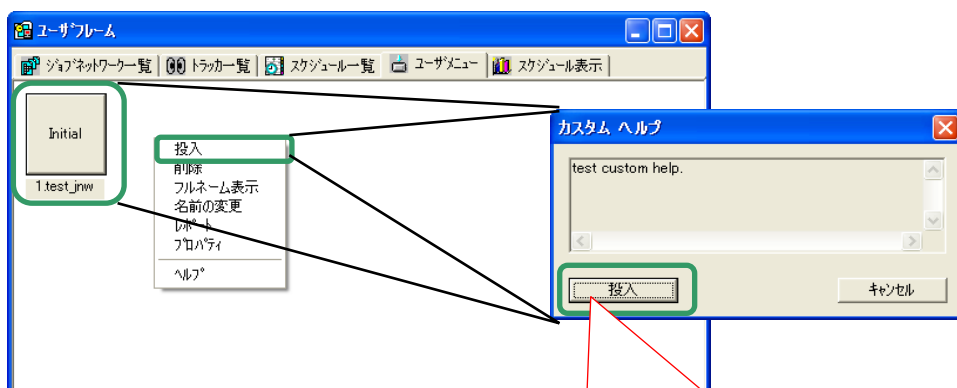
スケジュールを作成
 TargetType : SCH
 TargetName : スケジュール名
 Operation : create

スケジュールを修正
 TargetType : SCH
 TargetName : スケジュール名
 Operation : modify

スケジュールを削除
 TargetType : SCH
 TargetName : スケジュール名
 Operation : delete

7.1.4 [ユーザメニュー] タブ

[ユーザメニュー] タブから実行可能な操作のうち、ジョブネットワークの投入に対して操作ログが出力されます。



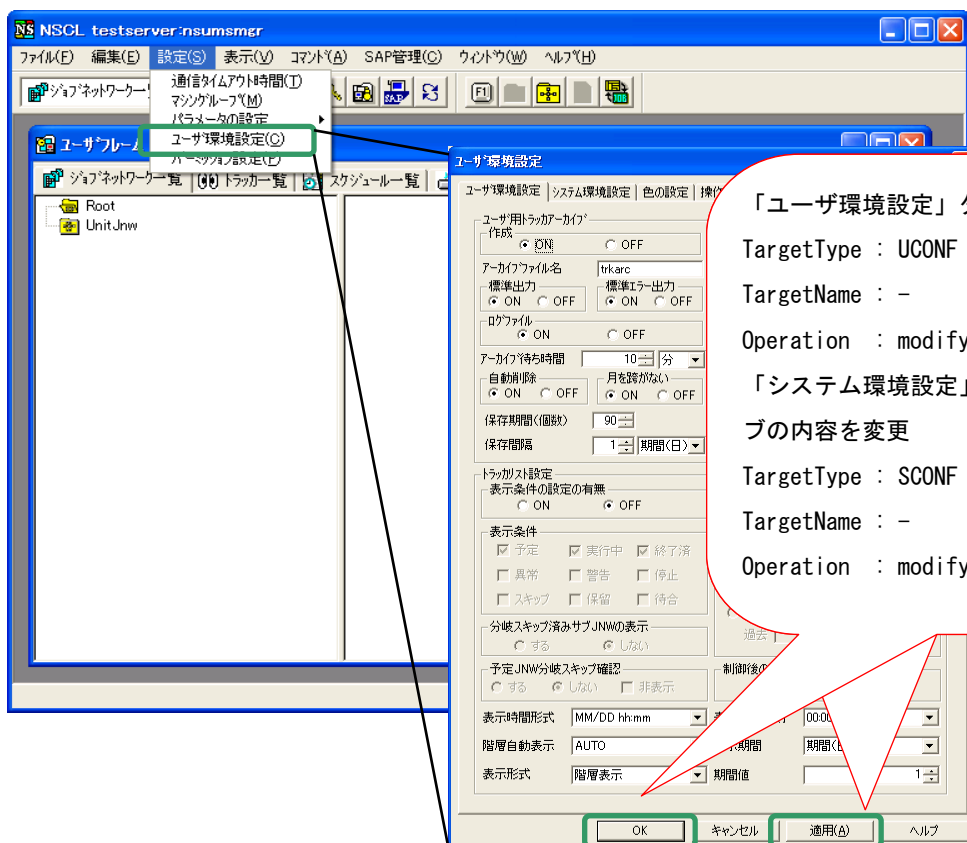
ユーザ定義ボタンからジョブネットワークを投入

TargetType : JNW

TargetName : JNW 名

7.1.5 [ユーザ環境設定] ダイアログ

[ユーザ環境設定] ダイアログからは、システム環境設定、および、ユーザ環境設定の変更に対して操作ログが出力されます。



「ユーザ環境設定」タブの内容を変更

TargetType : UCONF

TargetName : -

Operation : modify

「システム環境設定」、「操作・実行ログ」タブの内容を変更

TargetType : SCONF

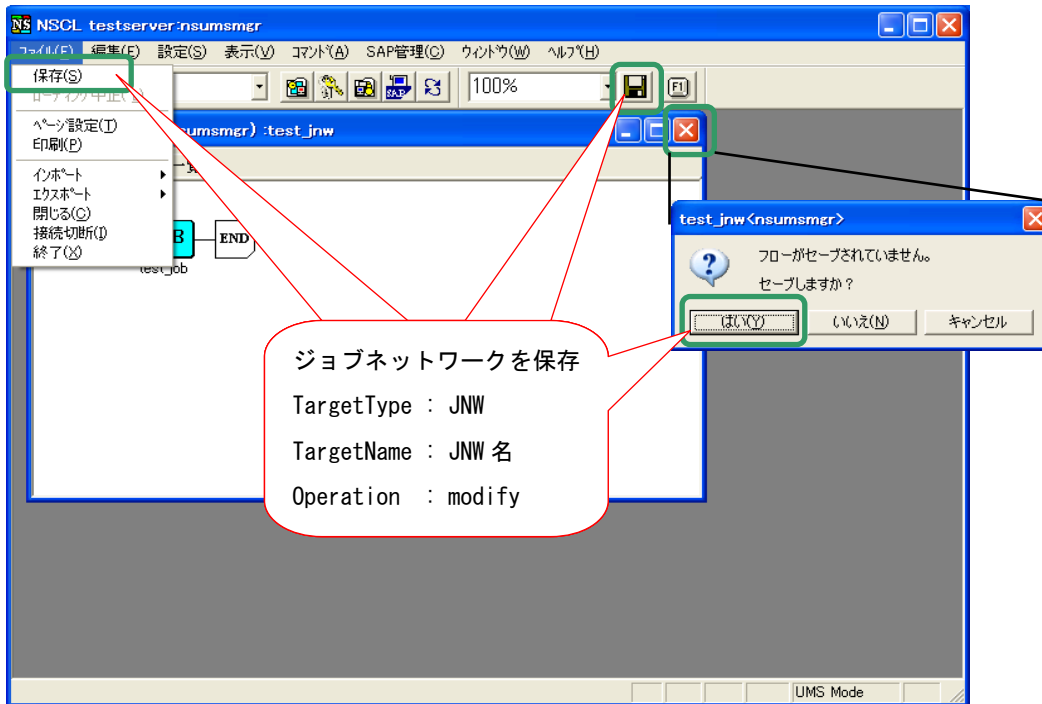
TargetName : -

Operation : modify

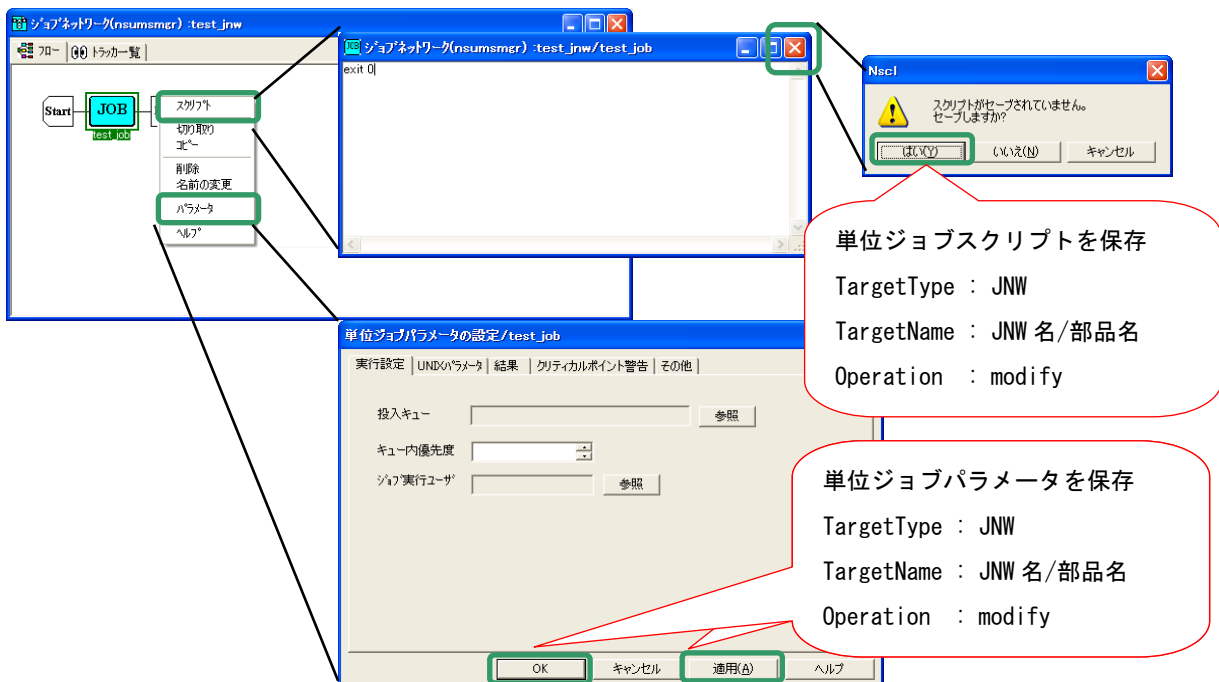
7.1.6 ジョブネットワークフローウィンドウ

ジョブネットワークフロー、および、ジョブネットワークフロー中の各部品のスクリプト、および、パラメータの変更に対して操作ログが出力されます。

(1) ジョブネットワーク



(2) 単位ジョブ



(3) R/3 ジョブ

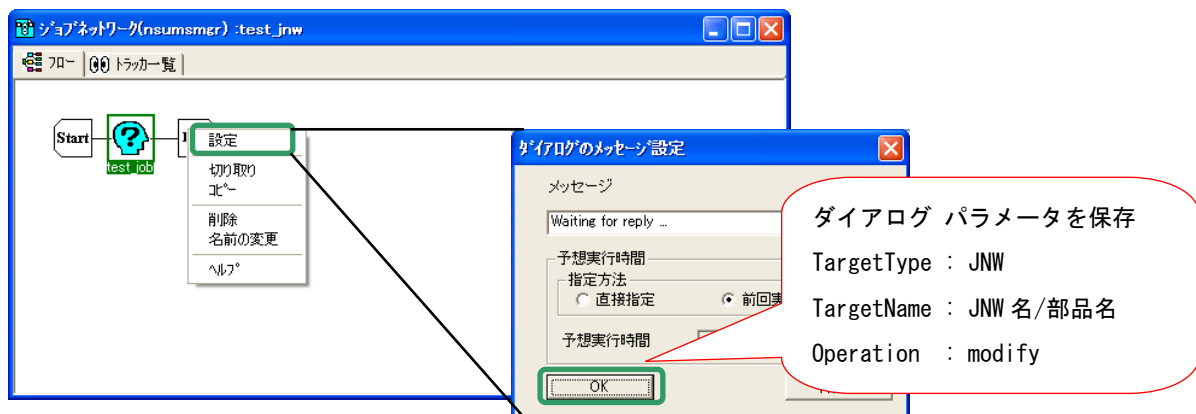
R/3 ジョブスクリプトを保存
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名/部品名
Operation : modify

R/3 ジョブパラメータを保存
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名/部品名
Operation : modify

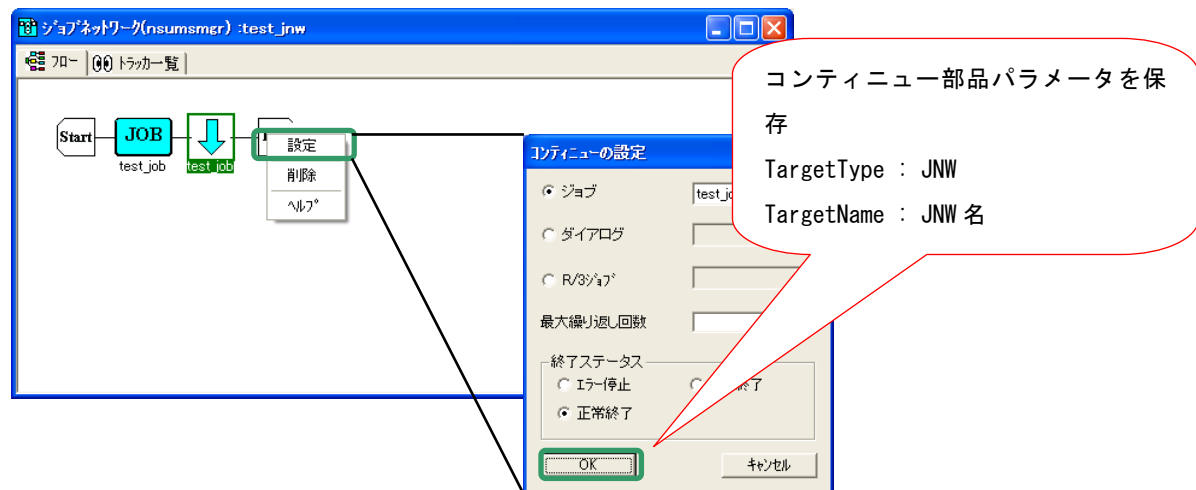
(4) BW ジョブ

BW ジョブパラメータを保存
TargetType : JNW
TargetName : JNW 名/部品名
Operation : modify

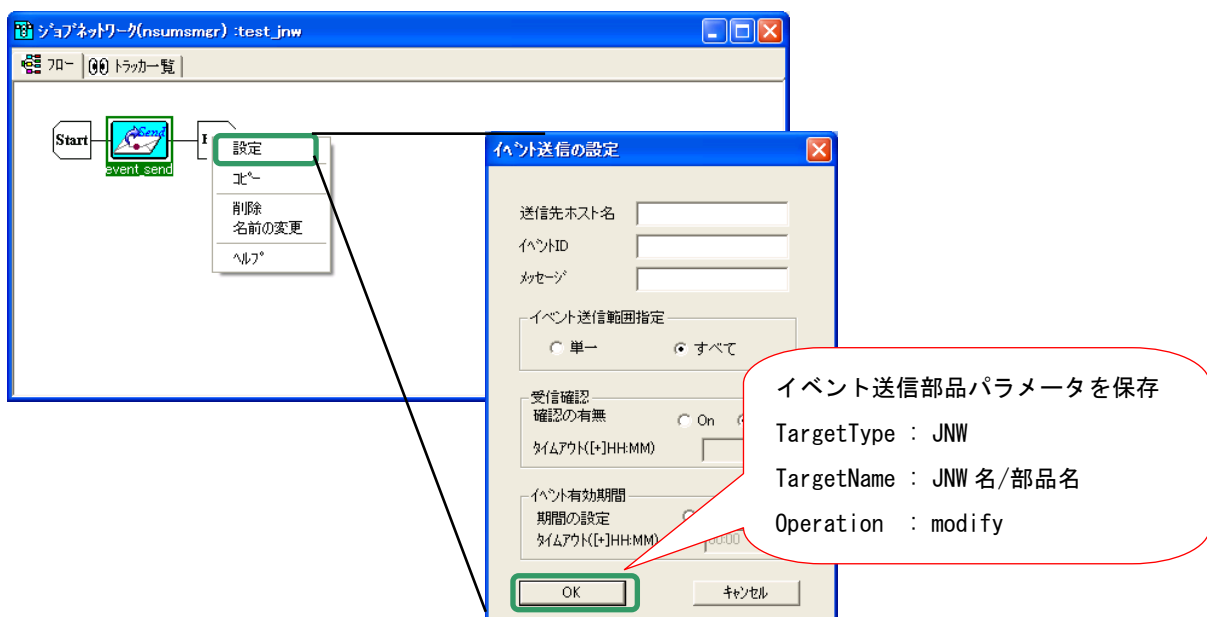
(5) ダイアログ



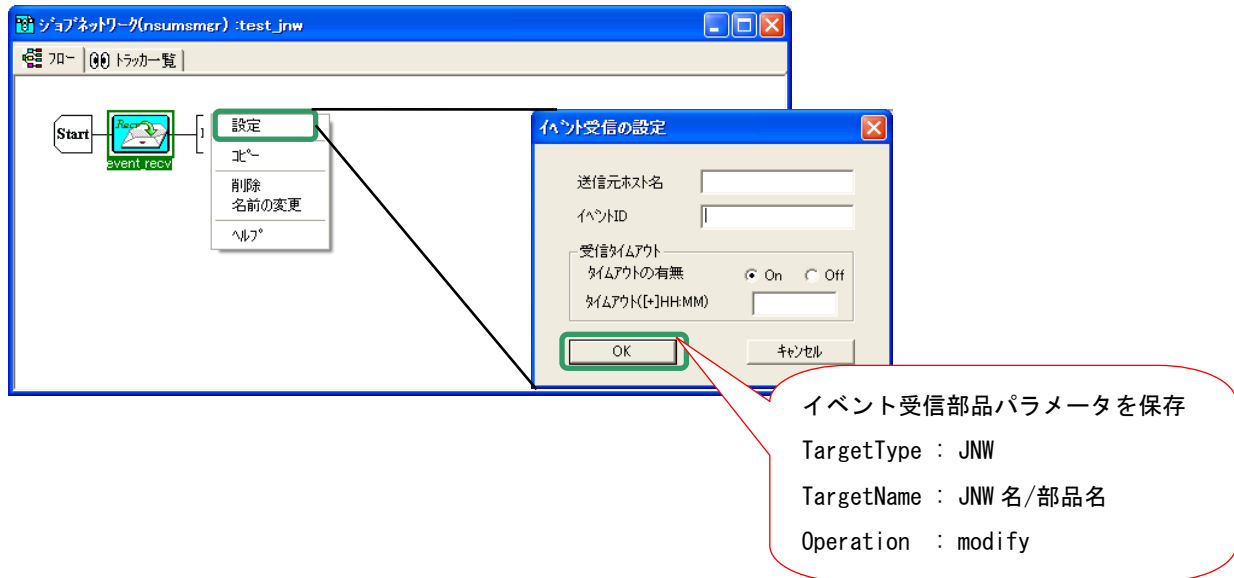
(6) コンティニュー



(7) イベント送信



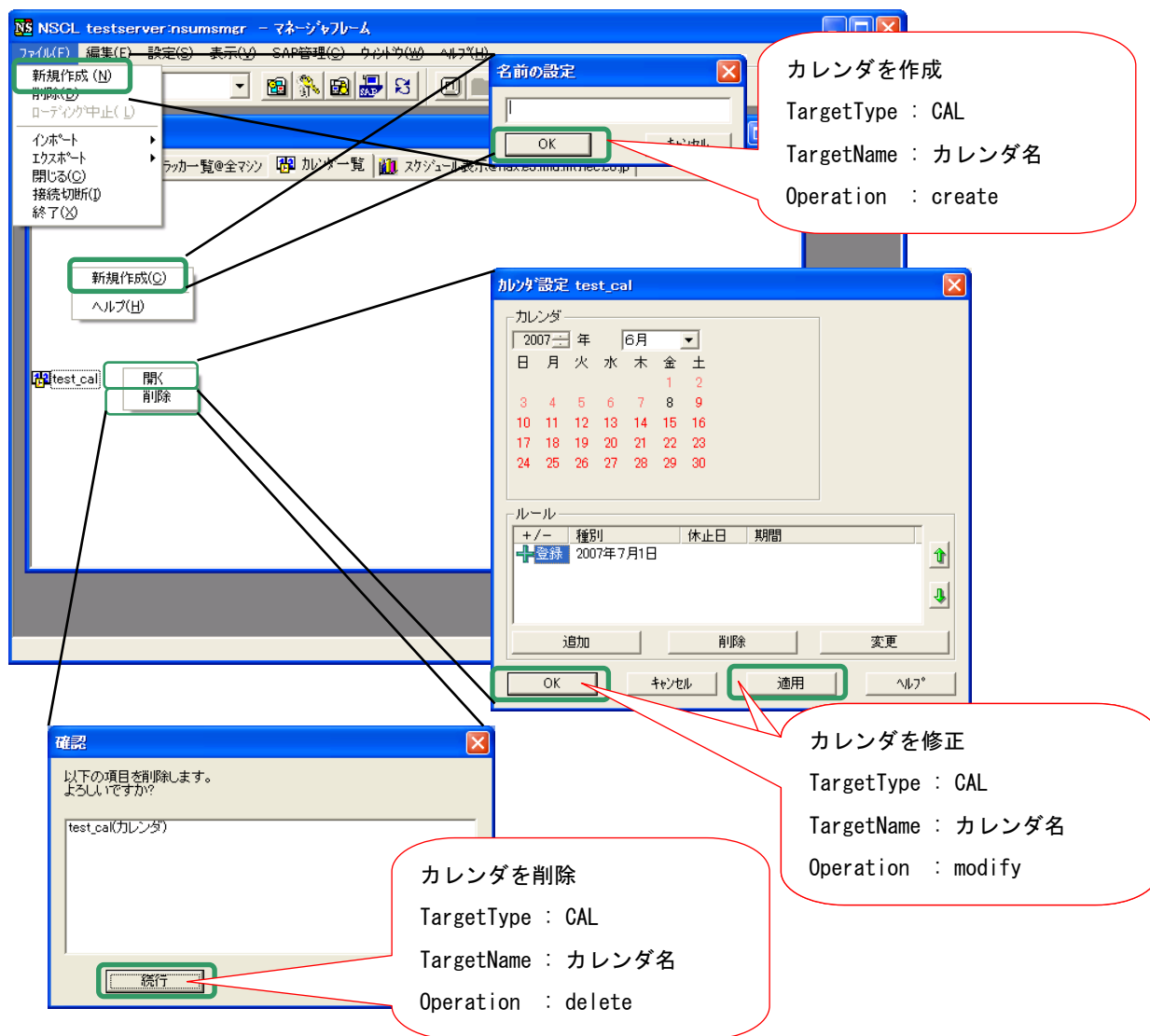
(8) イベント受信



7.2 マネージャフレーム

7.2.1 「カレンダー一覧」タブ

「カレンダー一覧」タブから実行可能な操作のうち、カレンダーの作成・編集・削除に対して操作ログが出力されます。



索引

【C】

CL/Win … 31

【E】

EndStatus … 23

EndTime … 23

EventType … 22

【L】

LocalTime … 18, 22

【M】

MachineName … 18

【O】

Operation … 20, 29

【S】

StartTime … 23

【T】

TargetName … 19, 28

TargetType … 19

TrackerName … 22

TZ システム環境変数 … 26

【U】

UserName … 18, 22

【あ】

親子関係 … 24

【か】

概要 … 7

格納パス … 10, 11

過去バージョン … 27

カレンダー一覧 … 51

機能概要 … 7

構成 … 8

【さ】

差異 … 27, 28, 29

作成 … 15

実行 … 7, 8, 9, 11, 12

実行ログ … 9, 11, 21, 24

取得設定 … 12

ジョブネットワーク … 24

ジョブネットワーク一覧 … 33

ジョブネットワークフロー … 47

スケジューラー一覧 … 45

制限事項 … 25

設定項目 … 14

操作 … 7, 8, 9, 10, 12, 31

操作ログ … 9, 10, 17, 27, 31

【た】

注意事項 … 25, 26

トラッカー一覧 … 35

【は】

バックアップファイル … 15

フィールド … 18, 19, 20, 22, 23, 28, 29

フォーマット … 16, 27

【ま】

マシングループ構成 … 26

マネージャフレーム … 51

文字コード … 26

【や】

ユーザ環境設定 … 13, 46

ユーザフレーム … 32

ユーザメニュー … 46

【ら】

ログ … 15, 16

ログフォーマット … 16

